



平成 20 年 4 月 28 日

各 位

会社名 旭松食品株式会社
代表者名 代表取締役社長 赤羽 源一郎
(コード 2911 大証第2部)
問合せ先 執行役員経理部長 足立 恵
(TEL 06-6306-4121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、前回(平成 19 年 10 月 30 日)公表しました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 通期業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(連結)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	18,100	70	80	50
今回修正 (B)	17,545	△341	△305	△465
増減額 (B - A)	△555	△411	△385	△515
増減率 (%)	△3.1	-	-	-
前期(平成 19 年 3 月期)実績	18,299	216	245	90

(個別)

(単位：百万円，%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	17,500	50	70	30
今回修正 (B)	16,913	△389	△342	△485
増減額 (B - A)	△587	△439	△412	△515
増減率 (%)	△3.4	-	-	-
前期(平成 19 年 3 月期)実績	17,801	217	245	98

2. 修正の理由

(連結)

連結業績予想の修正については主に個別業績予想の修正によるものです。

(個別)

当第4四半期につきましては、凍豆腐部門において本年2月1日に価格改定を実施し収益の改善を図りましたが、市場での実勢売価への浸透が予想に比べ遅れております。また、納豆部門におきましては、高付加価値商品として発売しました「おなか納豆」が売上に寄与したものの、市場の低迷により既存製品がふるわず、予想を大きく下回る予定であります。利益面では、市場での競争激化の中、当社の主原料であります大豆価格は当初予想以上の上昇が続いており、また、原油価格の高騰による包装材料・燃料費等のコストアップも同様に続いております。当社では業務効率の改善、固定費を中心にコストダウン施策を進めてまいりましたが、上記コストを吸収するには至っておりません。

このような状況から通期の売上高、営業利益、経常利益を修正するものであります。

また、当社が計上しておりました繰延税金資産については、その回収の可能性が低下したことにより一部取崩しを行う予定であり、当期純損失予想額の大幅増加の要因となっております。

3. 期末配当金について

株主配当金につきましては、当社は株主各位に対する利益還元を重要課題と位置づけており、業績に裏付けられた成果の配分を安定的に行うことを基本方針としております。しかしながら当期の業績が大幅な損失を計上する見通しであり、誠に遺憾ではございますが、1株当たり10円の当初配当予定を2円減配し、1株当たり8円とさせていただきます予定であります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報と、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実施の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上